

News Release

【報道関係各位】

2011年10月7日
セント・ジュード・メディカル株式会社

セント・ジュード・メディカル、新型脊髄刺激用リードを発売

～腰・下肢の慢性疼痛治療成績の改善に期待～

新型のPenta™リードで複雑な疼痛パターンの治療を効率的にサポート

セント・ジュード・メディカル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:ウィリアム・フィリップス、以下「当社」)は、脊髄刺激療法(慢性疼痛治療)用「Penta™リード」(承認番号:22300BZX00186000)の発売を発表しました。

Penta™リードは、腰痛、両腕痛や両下肢痛のような複雑な疼痛パターンにも対応できるリードとして開発されたものです。電極が5列に配置され、Penta™リードは他の部位に影響を与えることなく、複数の痛みの部位に関連する脊髄神経線維を選択的に刺激することが可能です。セント・ジュード・メディカル社(米国)独自のマイクロ・テクスチャリング加工により、一つ一つが小さい電極でも多くの電流を効率よく脊髄に送ることが可能となりました。

Penta™リードは、体格が小さな患者様に適した小型かつ長寿命を有する充電式脊髄刺激装置、EON Mini™Dual 8ニューロスティミュレータと併用することができます。当社の取り扱うEON Miniは男性用の腕時計とほぼ同じサイズで、薄型、コンパクトなデザインは小型のデバイスを必要とする患者様に適しています。Penta™リードは日本に加え、米国、欧州、オーストラリアおよびカナダでも販売され、米国では特許を取得しています。

「慢性疼痛管理のサポートとして広い面をカバーするリードをいち早く導入できてうれしく思います。Penta™リードは広範囲に脊髄神経をカバーでき、拡大しつつある当社の神経刺激療法関連製品ラインナップがさらに強固なものとなります。」と、当社社長、ウィリアム・フィリップスは述べています。

慢性疼痛は、多くの場合十分に治療ができない可能性があり、また誤解の多い疾患です。世界中で何百万もの患者様が慢性疼痛に苦しんでいます。世界保健機関が国際疼痛学会(International Association for the Study of Pain: IASP)と共同で行った報告では、5人に1人が中等度～重度の慢性疼痛に苦しんでいるとされています。

神経刺激療法(脊髄刺激療法)は、体幹部や両下肢、および術後腰痛等の慢性疼痛を治療するために使用されます。脊髄刺激療法では、痛みの信号が経路する脊髄に微弱な電気刺激を流すことで、痛みの信号を脳に伝わりやすくします。リードに搭載された電極は患者様の個々のニーズに合わせてプログラムすることができ、テイラーメイドの治療が可能になりました。脊髄刺激療法に関する患者様向けの詳細情報につきましては以下のURLをご参照ください。

邦文: <https://www.sjm.co.jp/general/nerve/index.html>

英文: <http://www.poweroveryourpain.com/>

30年に及ぶ最先端の神経刺激技術の探求

30年以上に渡り、セント・ジュード・メディカル(米国)ニューロモデュレーション事業部は慢性疼痛やその他の神経障害の治療のための新しい技術の開発を続けています。今日では、40か国で7万5千名以上の患者様がセント・ジュード・メディカル(米国)製神経刺激システムの植え込みを受けています。セント・ジュード・メディカルは研究に注力し、様々な神経障害を治療するための新しい技術の開発を続けています。現在、パーキンソン病、本態性振戦、片頭痛などを対象として臨床試験が行われています。

セント・ジュード・メディカル(米国)について

セント・ジュード・メディカル(米国)は世界中の心臓病、神経系および慢性疼痛の患者様の治療に当たる医療従事者の方々が優れたコントロールを手にすることができるよう、医療技術とサービスを開発しています。セント・ジュード・メディカルはリスクを可能な限り軽減すること、そして全ての患者様の治療の成功に貢献することを通じて、医療の発展に全力で取り組みます。セント・ジュード・メディカルは、米国ミネソタ州セントポールに本社を置き、「カーディアック・リズム・マネジメント」、「心房細動」、「心臓血管」、および「ニューロ・モデュレーション(神経系)」の4つの分野に注力しています。セント・ジュード・メディカルの詳細については<http://www.sjm.com/>をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

このプレスリリースには、1995年私的証券訴訟改革法の意味する、リスクや不確実性等の将来に関する記述が含まれる場合があります。このような将来の見通しに関する記述には、潜在的な臨床的成功、見込まれる当局の承認や将来の製品発売、予測される収入、利益、収益、市場シェア等、セント・ジュード・メディカル(米国、以下SJM Inc.)の期待、計画および見通しが含まれます。SJM Inc.による記述は、経営陣の最新の予測に基づいたものであり、実際の結果が将来に関する記述に記載された内容とは大きく異なるような特定のリスクや不確実性に影響されることがあります。これらのリスクや不確実性には、SJM Inc.の支配の及ばない市場の状況やその他の要因のほか、2011年1月1日に終了した当該年度に関する同社の10-K年度報告書および2011年7月2日に終了した四半期に関する同社の10-Q四半期報告書の「リスク要因および注意書き」の項に記載されたもの等、SECへのSJM Inc.の報告書に記載されたリスク要因やその他の注意書きが含まれます。SJM Inc.は、これらの記述を更新する意図はなく、またいかなる状況においてもそのような更新を特定の者に対して提供する義務を負うものではありません。

【本件に関する報道関係者のお問合せ先】

セント・ジュード・メディカル株式会社
PR マネージャー
山田 秀之
TEL 03-6255-5707 FAX 03-6255-5701